

土木情報学の 研究・教育における 大学の役割と課題

国土交通省ではBIM/CIMをインフラDXの中核と位置付け、2023年度には原則適用し、ICTの積極的な活用により、2025年度には建設分野の生産性を20%向上させることを目指しています。このような取組みのバックボーンである土木工学と情報学を融合させた「土木情報学」がどのようにして生まれたのか、学問分野として確立するための三種の神器である 1) 学問体系、2) サイエンス、3) 論文集はいかなるものなのか、また土木情報学における大学や大学教員の役割と課題は何なのか等について講演します。

2022年 **9月26日(月)** 15:00~

場所 3号館0323講義室
teamsを利用したオンライン同時双方向配信
(接続先リンク等は参加申込後に案内)

講師 矢吹 信喜 (大阪大学 大学院工学研究科 環境・エネルギー工学専攻 教授)

参加申込

参加申込フォーム
<https://forms.office.com/r/qfBcqQwz9b>

